

子ども・子育て支援事業の需要量見込み【補正】(年度別)

ニーズ調査結果から、国の手引きを基にして算出できる需要量の見込みを記載する。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1.利用者支援に関する事業	量の見込み 1					
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
2.時間外保育事業	量の見込み 2	6,535	6,583	6,586	6,598	6,581
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
3.放課後児童健全育成事業	量の見込み 3 (低学年)	5,523	5,696	5,867	5,956	6,072
	(高学年)	2,153	2,176	2,247	2,323	2,388
	確保の内容					
4.子育て短期支援事業(ショートステイ)	量の見込み 4	813	819	819	821	819
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
5.乳児家庭全戸訪問事業	量の見込み 5					
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
6.養育支援訪問事業	量の見込み 6					
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
7.地域子育て支援拠点事業	量の見込み 7	622,214	619,302	620,842	621,230	620,999
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
8.一時預かり事業 (子育て短期支援事業(トワイライトステイ)、子育て援助活動支援事業(就学前児童)含む)	量の見込み 8(1号幼稚園)	215,739	219,935	219,640	220,268	219,250
	(2号幼稚園)	143,436	146,226	146,030	146,447	145,770
	(その他一時預かり)	530,567	531,860	532,581	533,277	532,392
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
	量の見込み 8(1号幼稚園)	168,285	171,558	171,328	171,818	171,024
	(2号幼稚園)	435,278	443,744	443,148	444,416	442,361
(その他一時預かり)	578,021	580,237	580,893	581,727	580,618	
9.病児保育事業	量の見込み 9	78,354	78,926	78,971	79,109	78,910
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
10.子育て援助活動支援事業(就学児)	量の見込み 10	41,636	42,786	44,289	45,151	45,920
	確保の内容					
	需給ギャップ -					
11.妊婦検診事業	量の見込み 11					
	確保の内容					
	需給ギャップ -					

- 1 子ども・子育て支援に係る情報提供、相談支援の利用希望に基づき、身近な場所で必要な支援が受けられるよう地域の実情を配慮しつつ目標事業量を設定
- 2 小学校就学前子どもの保育に係る希望利用時間帯を勘案して目標事業量を設定
- 3 放課後児童健全育成事業に係る利用希望を勘案して目標事業量を設定(学年があがるほど利用の減少傾向に留意)
- 4 保護者の状況により子どもの養育が一時的に困難となった期間の実績に基づき、10等による対応も勘案して目標事業量を設定
- 5 出生数等を勘案して目標事業量を設定
- 6 要支援児童及び特定妊婦並びに要保護児童の数等を勘案して目標事業量を設定
- 7 地域子育て支援拠点事業の希望利用日数等に基づき、移動可能な範囲で利用できるよう配慮し、目標事業量を設定
- 8 小学校就学前子どもを一時的に第三者に預けた日数の実績に利用希望を加えたものを勘案して、10等による対応も勘案し、目標事業量を設定(幼稚園の預かり保育の定期的な利用を除く)
- 9 一.2号3号の小学校就学前子どもの数を利用可能性のある者とし、利用実績、利用希望を勘案して目標事業量を設定  
二.利用実績、利用希望を勘案して、適切と考える区域ごとに整備されるよう目標事業量を設定
- 10 子どもを一時的に第三者に預けた日数の実績に基づき、8等による対応も勘案し、目標事業量を設定(幼稚園の預かり保育の定期的な利用を除く)
- 11 妊娠の届出件数を勘案して目標事業量を設定